

常盤平地域まちづくり検討会議（第3回）を開催しました。

第3回まちづくり検討会議の概要

日時：令和8年2月13日（金） 18時～19時30分

場所：常盤平市民センター

出席：自治会や地域で活動されている皆様 16名

松戸市職員 5名、コンサルタント 6名

テーマ：「まちづくりで整備したい・してほしいコト、取り組みたい・取り組んでほしいコト」

まちづくり検討会議の様子

当日は、松戸市の常盤平駅周辺まちづくり推進課の職員による検討会議の主旨・進め方の説明、クリスマスガーデン・オープンハウスアンケートでの調査結果、まちづくり事例の紹介後、3班に分かれワークショップ形式にて、下記の3つの内容について、様々な意見交換が行われました。

- ・これまでの意見を踏まえた地域の課題・強み等
- ・常盤平地域の将来像について
- ・まちづくりの取り組み・進め方について



開会の挨拶



市職員説明の様子



ときわだいらクリスマスガーデン（R7.12月20・21日）
実施報告の様子

意見交換の主な内容

当日は、参加者から多くの様々な意見をいただき、有意義な意見交換の場となりました。

当日の皆様 의견

常盤平地域の将来像(キャッチフレーズ)

【A班】

- 『とき★めき常盤平』
- 『活気あふれる、集いやすく、立ち寄りやすいまち』
- 『若者にも響く、レトロで、昭和の日本らしさが残る安心空間』
- 『緑と桜とけやきに包まれる、日傘のいないまち』
- 『都会から来ると温度がふっ下がるような感覚のまち』

【B班】

- 『ひととひととのつながりを大事にする、顔の見えるまち』
- 『お年寄りから若者まで世代を継続する力のあるまち』
- 『パッション(情熱)があふれる活力のあるまち』
- 『下町の情緒を大切にした隣三軒の関係でつながるまち』

【C班】

- 『安心安全風通しの良いまち』
- 『賑わいがあり、住みやすい』
- 『出歩きたくなるまち、歩きたくなるまち』
- 『共生』
- 『こじんまり常盤平、モーレツ多世代交流』
- 『つながるきっかけ普段着』

常盤平地域の課題・強み

【A班】

- (課題)・消防団は人手不足と高齢化が進んでいる。
- ・サンロード五香商店街は老朽化・無人化が進み、市街地全体も高齢化して活気が低下。
 - ・けやき通りの並木道や公園などの空間を十分に活かしきれていない。
 - ・中心部から離れた住民はアクセスしづらく、地域イベントへ参加しにくい。
- (強み)・サンロード五香商店街には約60の店舗があるが、すべて営業している。
- ・災害対策や地域交流は学校等での取組で改善されてきている。

【B班】

- (課題)・年々高齢者が増え、商店街の元気がない。
- ・夜が暗く、防犯上での不安がある。
 - ・住み続けるためには家賃を重視する必要がある。
 - ・階段の上り下りが大変で、高齢者にとって負担が大きい。
 - ・市やURがどのようなまちづくりを計画しているのか、公開情報が少なくわからない。
- (強み)・盆踊りやさくらまつりなどを通じて、住民の一体感がある。
- ・都心へアクセスが良い。
 - ・陽当たりや眺望に恵まれた環境である。

【C班】

- (課題)・外国人住民とのコミュニケーションに課題を感じている。
- ・若い世代を中心に、人口が減少している。
 - ・高齢者の引きこもりが課題で、外出を促す取り組みが重要である。
- (強み)・複数のスーパーがあり、日常の買い物には不自由がない。
- ・団地ができてからの地域のコミュニティが残っている。



意見交換の主な内容(続き)

【A 班】

- ・場所を限定することなく人が集まるようにすることで、常盤平全体を活性化させたい。
- ・学校主催の公開イベントなど、子供・高齢者が一緒にできる催しを実施したい。
- ・音楽、アート、福引き、ハロウィンイベント、ドッグランなどの趣味イベントをしたい。
- ・盆踊りや玉入れといった古き良き地域の歴史や文化を復活させたい。
- ・けやき通りを歩行者天国にし、有効に活用したい。また、21世紀の森と広場のステージも積極的に活用したい。
- ・さくら祭りの開催時は、警察に、柔軟な対応をお願いしたい。
- ・交通ネットワークを強化し、宿泊施設を誘致したい。
- ・自動運転バスなど、この先も住みたくなるような先進的な取り組みを行いたい。
- ・緑、芝生を増やし、公園をより魅力的に整備したい。
- ・スポーツ施設を増やしたい。

【B 班】

- ・街路灯にセンサーをつけ、点滅の自動化を図る。また、街路灯を誰が、どの団体が管理をしていくか明確にする。
- ・ライフスタイルの変化に合わせて上下階での引っ越しで住み替えが可能となる高層マンションを整備し、コンパクトシティを実現する。
- ・住民が求めている機能を明らかにし整理した上で、UR との情報交換を通じて住民意見を反映させる。
- ・体育館やアリーナ等のスポーツ・娯楽施設を整備する。
- ・シェアサイクリングを導入するなど、新しい移動手段で交通渋滞を緩和したい。
- ・回覧板を QR コード化し、バージョンアップさせる。
- ・自治会が大切にしている「隣3軒」のつながりを意識し、すれ違った際に「こんにちは」と言い合える環境をつくりたい。
- ・地域住民が熱意をもってまちづくりに取り組める場や仕組みづくり。

【C 班】

- ・現状の常盤平安全安心ステーションなどを充実させ、防災機能を高める。
- ・立地や地盤は良いので、老朽建物の耐震化工事を推進するなど、地域全体が避難しなくても済むまちにする。
- ・望のひろばや金ヶ作公園をもっと活用する方法を検討する。
- ・地域外の団体とも、もっと協力できる体制を構築する。
- ・高齢者・外国人・若者など、世代や属性を問わず交流できるコミュニティを形成したい。
- ・賑わいは創り出さなければ生まれなため、地域イベントなどを定期的かつ継続的に開催したい。例えば、団地内でヒーローショーなどが集まるイベントを定期的開催したい。
- ・謎解きイベントや複数店舗と連携したスタンプラリーなど、歩きながら楽しめるイベントを開催したい。
- ・現状、イベントを開催する際、参加者からの会費で運営しているが、寄付や若者の参加を広げることで、地域の取り組みを充実させ、多世代交流を促進したい。

**これまでのまちづくり検討会議で出てきた意見をもとに
やってみたいことや方向性について次のページにまとめています**

◎ 今回の検討会議のまとめ

これまでの検討会議のまとめ

○ やってみたいこと・今後の方向性

<喫緊の重要課題>

- ・ 多世代間のコミュニケーションをどう図っていくか。
- ・ 空き家・空き店舗の増加に対し商店街をどう活性化するか。
- ・ 歩きづらさや交通手段の使いにくさが重なり、特に高齢者や子育て世代において移動が大きな負担である。

<今後のまちづくりに向けた提案等>

- ・ 常盤平地域の資源を上手く活用し、回遊や交流を生むための方針を検討する。
- ・ 高齢化に対応した今後のイベントや自治会運営の担い手づくりと参画の多様化を目指す。
- ・ 住環境や移動手段の再編に向け、計画的に検討をおこなう。
- ・ 多世代のスムーズなコミュニケーションが可能となるコミュニティの形成を目指す。
- ・ 将来的なビジョンを住民・市・UR でしっかり共有し、協働による場づくり、街づくりを進める。

<具体的な活動や目標 ~やってみたいこと~>

- ・ 「けやき通り」や「金ヶ作公園」、「21世紀の森と広場」といった地域資源を生かし、「集客できるイベント」を定期的かつ継続的に実施し、日常の賑わいづくりにつなげる。
- ・ イベントの多地点開催やスタンプラリー等を導入する等、地域全体の回遊を促す仕掛けをつくる。
- ・ 徒歩や自転車での回遊がしやすい道路/交通ネットワークを構築する。
- ・ 高齢者の孤立防止、若者の地域の取り組みへの参画など、多世代が交流し、地域の担い手が育つ仕組みづくりを構築する。
- ・ 夜間照明や防犯カメラの強化等で「夜でも歩ける街並み」、防災機能の充実や耐震化推進による「避難しなくて済むまち」といった安全・安心なまちづくりを目指す。

第4回（書面開催）検討会議の主な内容について

- 今年度に出た意見の振り返り・まとめ
- 本年度の検討状況（気運醸成事業等）
- 来年度以降の進め方について

皆さんで議論した内容を、進捗に合わせ市のまちづくりの計画へと反映する予定です！



やさシティ、まつど。
matsudo



本まちづくり通信に関するお問い合わせ先
松戸市街づくり部 常盤平駅周辺まちづくり推進課
TEL：047-710-5523 FAX:047-710-6689
Email：mctokitan@city.matsudo.chiba.jp

